

(対象者数)												
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	9	1	1	1	1	3	1			19

指定校名：白川町立佐見小学校												平成 27 年 5 月 1 日現在	
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	7	1	5	1	8	1	4	(1)	9	1	5	(1)	
特別支援学級													
通級による指導 (対象者数)													
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教員	スクールカウンセラー	その他	計		
教職員数	1	1	3	1	1	1	1	1	1			11	

指定校名：白川町立黒川中学校												平成 27 年 5 月 1 日現在	
	第1学年				第2学年				第3学年				
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数		
通常の学級	11		1		21		1		14		1		
特別支援学級													
通級による指導 (対象者数)													
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教員	スクールカウンセラー	その他	計		
教職員数	1	1	7	1		1	1	2	1			15	

4. 指定校における取組概要

<p>①目的・目標</p> <p>障害のある子にとって必要な支援は『ないと困る』ものであるが、その支援はそうでない子にも有効である。指定校にあっては、そういったユニバーサルデザインの考えに立った授業改善を行うのが使命である。</p> <p>子供たちが楽しく「わかる・できる」授業となるようにユニバーサルデザインの考え方に立った授業研究を行い、『学習面と行動面で「気になる子」の支援スタッフ』を活用して学力向上を目指す。</p> <p>②すべての児童生徒が理解しやすいよう配慮した授業等、指導方法の改善</p> <p>ア) 出口を明確にした活動の見通しが持ちやすい課題設定の工夫</p> <p>イ) 少人数での追究活動による集団随伴性効果を生かす授業</p> <p>ウ) 多様な学習者のニーズを満たすための複数アプローチへの挑戦</p> <p>各指定校は、研究実践の成果を公表会や実践記録として町内小・中学校へ広めた。また、専門的アドバイザーから継続的に授業改善の指導・助言を受けた。</p> <p>③放課後補充指導等の学習面での配慮や視覚的・聴覚的な刺激の軽減等の行動面での配慮による指導方法の工夫</p> <p>ア) 異学年合同による補充学習の実施</p> <p>イ) 支援スタッフによる「気になる子」の学習面と行動面のサポート</p> <p>④適切な実態把握等による早期支援の実施</p>
--

- ア) 観察法による「気になる子」の早期発見スクリーニング
- イ) 保育園段階における早期支援の検討～保育園発達支援部会
- ウ) 小学校段階における早期支援の検討～小学校教育支援部会

5. 主な成果

- 本年度も町内すべての小・中学校において、校内研究の内容にユニバーサルデザインの視点を取り入れられ、研究実践が進められた。指定校の公表会では、分科会において町内の教職員から活発な意見交流がなされ、共通の視点で実践を通じた協議を行うことができている。
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れどの子も「できる」「分かる」授業を目指したことで、「学校に行くことが楽しい」と感じている児童生徒は小・中学校ともに90%を超えている。
- 積極的な研究成果の普及活動により、町内小中学校の教職員の意識が高まってきている。各学校における訪問の際には、いずれの学校においても「授業のユニバーサルデザイン化」の内容の実践報告がなされている。また、研修会等様々な場において、「授業のユニバーサルデザイン化」に関わる実践を積極的に発表した。
- 保育園、小・中学校の職員と関係機関の職員によるスクリーニングにより、途切れることのない支援を進めることができている。

6. 今後の課題と対応

- 研究の効果の検証を行い、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に関わる白川町モデルを確立する。このことにより、町内すべての学校による共通実践が進められるとともに、教職員の異動に依らない研究の定着及び深まりをもたせていきたい。
- 適切な支援をするために、支援スタッフとの情報交流は欠かせない。統一した様式を提示しながら、支援スタッフの観察による記録をもとにした適切な支援について検討できるようにしていく。
- 本年度から進めている、「個別の教育支援計画」に生かすチェックシートの活用を進めながら、改善を図っていく。現在の「個別の教育支援計画」は学校サイドの観察により支援方法の検討を進めているが、今後は、家庭との情報交流を密にしながら、本人や保護者等との合意の下支援を検討できるようにしていく。

7. 問い合わせ先

組織名：白川町教育委員会

- (1) 担当部署 白川町教育委員会 教育課 学校教育係
- (2) 所在地 岐阜県加茂郡白川町河岐 1645-1
- (3) 電話番号 0574-72-2317
- (4) FAX 番号 0574-72-2340
- (5) メールアドレス kyouiku@town.shirakawa.lg.jp